

深小づ子

《ハ・九月》

暗唱チャレンジ

八月と九月の暗唱チャレンジは、夏目漱石が書いた二つの小説のはじめの部分を覚えてもらいます。二学期もすべて合格するように頑張ってください。

「吾輩は猫である」

夏目漱石



吾輩は猫である。名前はまだない。  
どこで生まれたか 頓と見当がつかぬ。  
何でも薄暗い じめじめした所で  
ニャーニャー泣いていた事だけは記憶して  
いる。吾輩はここで はじめて人間といふ  
ものを見た。

「草枕」

夏目漱石



山路を登りながら、かう考えた。  
智に働けば角が立つ。情に棹させば流  
される。意地を通せば窮屈だ。兎角に  
人の世は住みにくい。